

平成26年度 関西福祉大学・『手話（基礎）』特別講座募集要項

関西福祉大学は、手話を、「言語」として学ぶ取り組みを始めています。近年、障害者基本法の改正により、手話の言語性が認められたことに伴って、情報の取得のための手話の役割が大きくなってきています。

関西福祉大学では、日常生活や社会生活を送る上での様々な場面で、手話が、さりげなく、活用されるようになることを願って、昨年度から、聴覚障害者への理解と認識を深めるとともに、手話の基礎的技術の修得を目指した「特別講座」を開講しています。

この特別講座は、手話初心者の方を対象とするものです。福祉の専門職を目指す本学学生（1年次生）と共に学ぶこととなりますが、若者との交流を大切にしつつ、手話の知識・技術を深めて頂ければ幸いです。

受講修了後には、『関西福祉大学・手話（基礎）講座受講証明書』が交付されます。

募 集 人 員	5名程度
対 象	はじめて手話を学ぶ方
目 的	聴覚障害者への理解と認識を深め、手話を言語として学び、その基礎的な知識・技術を修得
講 師	中野 佐世子（NHK 手話ニュースキャスター）
講 義 日 時	平成26年 9月2日(火) 9:05~16:10 (90分×4回) 9月3日(水) 9:05~16:10 (90分×4回) 9月4日(木) 9:05~16:10 (90分×4回) 9月5日(金) 9:00~14:30 (90分×3回)
講 義 内 容 (全15回)	第1回『聴覚障害とは』（ろう者、ろうあ者、難聴者、中途失聴者とは） 第2回『聴覚障害とは』（聞こえの仕組み、伝音性難聴、感音性難聴、混合性難聴） 第3回『聴覚障害者とのコミュニケーション手段Ⅰ』（手話・指文字） 第4回『聴覚障害者とのコミュニケーション手段Ⅱ』（補聴器・読話・筆談） 第5回『聴覚障害児教育の現状と課題』 第6回『聴覚障害者の生活Ⅰ』 第7回『聴覚障害者の生活Ⅱ』 第8回『歴史の中の聴覚障害者Ⅰ』（ろうあ被爆者） 第9回『歴史の中の聴覚障害者Ⅱ』（沖縄の風疹障害児） 第10回『聴覚障害者への情報保障Ⅰ』（手話通訳活動の現状と課題） 第11回『聴覚障害者への情報保障Ⅱ』（新聞のテレビ欄から考える） 第12回『重複障害者Ⅰ』（盲ろう者、そのコミュニケーション手段） 第13回『重複障害者Ⅱ』（ろう知的障害者） 第14回『先天性障害と中途障害』 第15回『まとめ』
申 込 期 間	平成26年8月21日（木）～8月29日（金） ※申込書は、書留速達で締切日当日消印有効 募集人員を超える場合、書類選考により決定致します。
申 込 方 法	本学指定の申込用紙へ必要事項を記載の上、申込期間内に下記住所へ送付もしくはFAXにてお送りください。
送付及び問合せ先	〒678-0255 兵庫県赤穂市新田 380-3 関西福祉大学 教務課 TEL(0791)46-2735 FAX(0791)46-2526
受 講 料	20,000円（テキスト代含む）
受 講 決 定 通 知	平成26年9月1日（月）発送
受 講 手 続	受講者決定後には、受講決定通知とともに受講料振込に関する書類を送付します。受講決定通知到着後は、平成26年9月1日（月）～平成26年9月10日（水）までに受講料の振込を行ってください。なお、納入された受講料は返還できません。予めご了承ください。
備 考	受講修了後、『手話(基礎)特別講座受講証明書』を交付致します。